

令和3年度 学校評価 自己評価及び学校関係者評価

学校名	坂戸市立千代田中学校
実施日	2月18日

評価 A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各部会や各担当者が各々の責任役割を理解し、連絡連携体制が明確で、取組が可視化されている部分が多い。 ・全体的に「みんなで考え取り組む」雰囲気があったが、責任の所在がはっきりしない場面もあった。 ・コロナでいろいろな制約がある中、創意工夫しながら取り組むことができていた。 ・特色ある学校＝自立の力を育む。生徒中心の活動、例えば、生徒会活動、委員会活動、あいさつを活性化する。具体的な項目をたて、評価しやすい特色を示していきたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のみなさんの「自己評価シート」には、学校の組織的な運営について、肯定的に評価する言葉が複数、記載しており、とても健全なことだと考えました。 ・特色のある学校づくりを保護者としては、感じる機会は少なかったです。
	2	学校は、災害、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に一任するのではなく、学年を越えて協力している。 ・危機管理マニュアルについては、全員で研修する機会が必要である。 ・研修内容の見直しが必要である。「不審者への対応」「引取訓練」「避難場所の対応」 ・不審者(校舎侵入者)対応については、開放されている箇所も多く難しく感じる。 ・避難訓練等の成果で、少しの揺れでも、生徒は素早く机の下に潜ることができている。 ・基本的に報・連・相の徹底が図れておりトラブル等にも学年を初め、管理職も迅速に対応している。 ・警察の方を呼んで、全体での講習会を実施していきたい。 ・避難所になった場合の教員の動きについての研修を市役所や地域と連携し実施していきたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・防犯に対して、教職員のみなさんは、高い意識をお持ちであることがわかります。その表れと思いますが、「不審者」への対応に関する研修の必要性が、いくつか指摘されているため、それを主題とした研修・訓練の実施を検討されてはいかがでしょうか。 ・災害時、避難場所となるので地域と交流、研修を実施してほしいです。 ・避難訓練を次の段階の災害図上訓練DIG、避難訓練HUGなどへ。ゲーム化されているので良いかと思えます。 ・校舎侵入に関しては、もっと対応が必要だと思います。ガソリンを使った事件などをまねた事件に対応する必要はあると思います。
	3	学校は、働き方改革を意識して、職員の勤務体制の改善を図っている。(共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍に関係なく、行事等を精選していく。 ・会議、研修会を精選し、生徒に対応する時間を作っていく。 ・ノー残業デーの設定日を見直し、定時で帰ることができる状況を設定していく。 ・計画的に年休を取得できる雰囲気を作っていく必要がある。 ・勤務時間を大幅に過ぎることなく退勤できているように感じるため、休暇を取りにくい学校ではない。 ・ノー残業デーを21日水曜日に設定している。県の取組みを紹介したり、計画的に仕事を進めるなど働き方改革を推進していきたい。 ・会議の持ち方については、事前に資料に目を通し意見をまとめておく時間を確保し、会議時間を短縮している。 ・行事の担当が一人で計画を作らないで分掌で会議を開き内容を精選しておく。 ・現在は企画会で検討してから職員会議に提案されていて、会議時間も短縮されている。職員会議では、積極的な発言をして欲しい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞報道等では、学校教員の過酷な労働環境が指摘されていますが、自己評価シートを拝見するかぎり、過剰といえるような業務負担は見られず、働き方を意識的に改善されていることがわかります。さらに建設的な改善策が自己評価シートには書かれているので、改善に向けて参考にさせていただくとよいのではないかと考えます。 ・職員室に遅い時間まで電気がついて心配になることがあります。 ・働き方改革は、学校のみで対処は難しい中いろいろな取組をされていると思います。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
教育課程・学習	4	教員は、学力向上に向け、児童生徒にわかりやすく、工夫した授業をしている。 (市共通項目)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業だけでなく、平素の授業においても授業改善を念頭に授業をしている教員が多い。 ・学び合いについては先生方にも生徒にも浸透していると思う。初任者も毎年のように入ってくるので学び合いの技法などについて、何年かに一回はきちんと学び直す機会があっても良いのではないかと感じる。毎年来てくださる学びの共同体の方の研修会の話の内容もよいが、もっと具体的な手法や知識を学びたい。 ・知識や技能を活用し、思考判断表現する課題とその評価方法の研究をする必要がある。 ・技術指導に欠かせない備品を揃えていきたい(美術) ・校内研修で県の学力学習状況調査の結果を分析し、改善を図っている。 ・英語科では、積極的に英語でコミュニケーションを図っている生徒が9割程度いる。 ・ICTの活用については、社会科で株式の仕組みをリアルタイムで実体験したりし、子どもたちのやる気が向上している。英語科では、モチベーションが向上し、学力に難がある生徒でも積極的に取り組んでいる。 ・ICTの活用による繰り返し学習が学力向上につながっている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから、生徒にわかりやすい授業の実践を心がけておられる姿が伝わってきます。また、「学校教育推進状況アンケート」の結果を見ても、「生徒」「保護者」とも、「教職員は教育に情熱をもって丁寧に指導していますか」の設問には、肯定的な回答が多く寄せられており、教育の受け手に先生方の情熱が伝わっていることがわかります。たいへん素晴らしいことであり、ぜひこの姿勢を継続していただきたいと考えます。 ・コロナで欠席している生徒にもオンライン学習ができており、よかったと思います。 ・子供が楽しく授業の感想を話しています。
	5	教員は、豊かな心を育む授業の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教科に拘らず、生徒のために横断的な授業実践している教員が多い。 ・少人数学習や個別指導のために学習室等を効果的に活用していきたい。 ・道徳の時間を計画的に取り組むことができたので、道徳教育推進教師を中心に更に進展させていきたい。 ・数学は、1年はTTで理想的な形でできた。2、3年は週1時間だけなので活用に課題がある。 ・理科は、TTがうまく使えていないことも多いが、今後、実験の時に効果的に活用していきたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価シートには、「少人数学習や個別指導のスペースが課題」という記述があったため、そうした点の検討も行っていただけたとよいのではないのでしょうか。 ・しっかりと対応して頂いていると思います。
	6	児童生徒は、落ち着いた態度で生活し、授業に取り組んでいる。 (市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・数年前のように、「千代田中は挨拶のできる学校です」とは言えない状況なので、礼儀やあいさつの大切さについて、道徳科でも指導していきたい。 ・部活の朝練に参加する生徒を中心に授業中寝る生徒が若干いるので、規則正しい生活について指導していく。 ・自分の考えを発表するという点については、発表の仕方などがあるまいで、ただ書いてあることを読むだけになっている場合もあるが、概ねできている。 ・コロナ禍の配慮として、積極的に声を出させる指導には躊躇してしまうことがあった。 ・挨拶が出来ない生徒や宿題を忘れる生徒を減らしていくことが今後の課題である。 ・生徒と教師の関係作りがとても大切である。 ・全体的に、「自分の考えを発表」する能力が低い生徒たちではないので、教師がさらに研修し発表する場面を工夫していきたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田中学校の生徒さんは、私から見ても、非常に真面目で落ち着いた生徒さんが多いと感じます。1点、「自己評価シート」の記述に「数年前のように千代田中は挨拶のできる学校です」とは言えないと思います」とあるのが気になりました。私の印象でも、数年前はすごく挨拶のできる生徒さんたちと感じました。近年はコロナのために対面の機会が減り、私自身は十分には認識できていませんが、今後も千代田中らしさを継続していただければ願います。 ・以前のように「千代中生は良い！」という評価を聞かなくなり残念です。 ・コロナもあり以前に比べて学校内でも挨拶をしてくれる子は、少なくなったように感じます。 ・「あいさつ」は基本となります。学年で違うとは思いますが、繰り返し徹底していただきたい点です。 ・すすんで挨拶はできていないと思いますが、コロナ禍が続く中、声を出さずとも一礼するなどの指導が伝わればそれも挨拶になると思います。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
資質の向上	7	学校は、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事根絶のために意欲的に取り組んでいる。 (市共通項目)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・相談しやすく、助け合いのある人間関係の良い職場である。 ・話しやすい雰囲気があるので、情報の共有がしやすい。 ・暴力的な言動や指導を、絶対に許さない雰囲気を作りたい。 ・生徒の個人情報の扱いについて教職員の意識を高め、お互いに注意していく。 ・校内研修の不祥事防止の呼びかけによって、一人一人が他人事ではなく自分のこととして意識できている。 ・今後も定期的に不祥事防止についての話は必要である。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価シートから、不祥事の防止や、相談のしやすい職場環境の構築に努めておられることがよくわかりました。 ・コロナ禍、先生方がいろいろと大変なことかと思えます。 ・雰囲気の良い職員室だと思います。
	8	本校の教員は、児童生徒一人一人を認め大切に接する態度で接している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・相談の機会を設けずとも、常に生徒の様子を気にかけて、相談活動を行っている。 ・生徒を信じ、信頼できる教育をしていきたい。3年間を通して、生徒と教職員が信頼関係を強くもち、気持ちの良い教育活動ができるようにしていきたい。 ・傾聴の姿勢は課題である。 ・職員の言語環境をもう少し整えたい。 ・感情的にならずに客観的に指導することを心がけた。 ・時には厳しい指導が必要だが、極端に威圧的な指導は適切ではない。 ・子供の社会が学校だけではなくなっていることで、学校だけに縛り付けることはできなくなっている。 ・機会を逃さず、穏やかに毅然と指導する。 ・世間的に教員の役割が変わってきていることを自覚し、教科指導やICT教育など、学校に求められる専門性をしっかりする必要がある。 ・職員室内の言葉遣いは、改善されてきているが、より一層気を付けていきたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価シートには、平日頃、生徒のことを考え相談活動を行っているという肯定的な記述がみられる一方、否定的で厳しい指摘が記述されていました。「言語環境をもう少し整えたい」とありますので、その点、心がけていただきたいです。 ・遅刻をしている生徒をよく見かけ心配になります。 ・先生と生徒の距離感を感じ、丁寧な言葉遣いができるよう訓練が必要だと思います。 ・言葉遣いに注意してほしいと思います。残念な言葉を多く周りの保護者から聞きました。
学習環境	9	学校は、特別支援教育体制の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の生徒の個に応じたきめ細かい指導ができている。 ・特別支援学級に在籍している生徒や、通常学級でも発達障害のある生徒についての理解を深める研修をもっと行いたい。社会や家庭環境も変化している中で、より充実した教育活動をしていくために必要である。 ・特別支援学級の生徒の笑顔が多く、一生懸命授業に取り組んでいます。授業に行くのが楽しいです。 ・通常学級の授業でも全体説明後に個別指導が充実してきている。 ・通常級と特別支援級の交流は行えている。 ・通常級と特別支援級での報・連・相を密に行っていく必要があった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に熱心に取り組んでおられることがよくわかりました。発達障害、障害理解などに関する研修の必要を書いておられる方がいるので、研修の実施を検討いただければと思います。 ・教員の自己評価のコメントに改善点などが書かれていたのもっとより良い教育を期待しています。 ・特別支援学級では楽しそうに授業が進んでいる様子が見られ、先生も「授業に行くのが楽しみです」と記入されているのがとても良好です。
	10	学校は、安心安全で機能的な教育環境整備に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検を計画的、定期的に行っていた。 ・校舎内の掲示物については、生徒が作成したものは剥がれや破れ、色あせ等が頻繁に起きるので、作成した生徒会専門委員会等で定期的に点検したりする必要がある。 ・作品整理、備品管理に努めたい。 ・教頭を中心に修繕の対応がすぐにできていた。 ・修繕出来なかった所は来年度直せるといふと思う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備に、日ごろから努められ、修繕が必要なときは迅速に対応されていることがよくわかりました。 ・生徒たちが作った作品などが工夫しながら掲示されているので良いと思います。 ・校内の様子はわかりにくいですが、地域住民は外から見て「雑草がすごい」「ネットに蕨が伸びているな」など学校を見えています。清掃を、とても清掃ができていて、気持ちのいい校舎だと感じます。
家庭・地域との連携	11	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。 (市共通項目)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・マメール配信や生徒への直接話す機会も含め、常に安全指導を行っている。 ・不審者情報をマメールで流していたが、見回りなども併せて行うべきであった。 ・学校だよりをホームページに載せて近況を報告している。 ・個人情報に配慮して載せる必要がある。 ・今後もマメールとフォームを効果的に活用していきたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・『千代田中だより』を定期的に発行し、生徒・保護者のみなさんに向けて、学校の取り組みや姿勢を丁寧に伝えておられるのが、すばらしいと思いました。楽しみにしておられる読者が多いのではないかと想像します。 ・コロナ禍、ご協力されていると思います。 ・マメールを通して情報提供してくれるので良いと思います。 ・地域としては、ホームページまで行って学校の活動を知らうとするのは少数です。「学校だより」が必要です。今後お願いします。 ・マメールの活用で防犯に役立てられています。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
連携	12	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用し、家庭・地域と連携し子どもの問題解決を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・医師、カウンセラー等、関係機関等との連携をもう少し行ったほうが良いように思う。 ・地域の人材の活用を図る工夫が必要である。 ・民生委員さんとの連絡会は、工夫して効果的に活用していきたい。 ・家庭学習チャレンジ週間等家庭と連携して行うことができていた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材の活用、連携については、課題があるように見受けられました。コロナ禍で制約は多いと思いますが、創意工夫をお願いしたいと思います。 ・コロナで難しいところもありますが、これらかも地域の人材を活用していただきたいです。 ・地域との連携は今以上に必要と思います。 ・防犯パトロール、通学路点検は保護者だけでなく地域の方々にお願いしてみることも必要と思います。
小中一貫教育	13	学校は、小中一貫教育の視点にたった教育活動を推進している。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連絡会を本年度は開けていないので、細かい確認等を行うことができていないが、家庭学習チャレンジ週間等を行うことができています。 ・今年度はコロナ禍により交流を深めていくことが難しかった。Meet等を使って小学校との交流を図っていけるとよいと思う。 ・コロナ禍で難しいとは思いますが、最低限の体験部活や模擬授業を行っていきたい。 ・中学校教員が小学校に行く時間を設けていきたい。 ・近隣の学校との研修をする際に5、10分程度の短時間での交流会を開くことは可能であった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・小中の連携は、これもコロナ禍のため難しさがありますが、可能なかぎり、児童・生徒の長期的な発達を見据えた取り組みを行っていただきたいと願います。 ・コロナ禍での交流は難しいのではと思います。しかしその中でも取組は出来る事もあるかなと思います。